

# 【教員採用試験】試験直前の心構えと準備（第1次受験編）

教職キャリアセンター長 鈴木 将史

いよいよ全国各地で、早いところは6月末から教員採用試験が始まります。

大事な大事な自分の人生を決めていく試験です。落ち着いて、しっかりと準備をして自分の力が発揮できるようにしてほしいと思います。

そのために、受験する皆さんは、次のことを確認して本番に向かってください。

## 1 教員採用試験の前日まで

### \* 受験日と時間と会場の確認

…簡単なようですが、間違ったら大変です。しっかりと確認しメモしておきましょう。

### \* 受験会場までの時間と道のりの確認

…会場には余裕をもって到着することが大事です。

・当日何があるか分かりません。もし道路の渋滞や鉄道事故などが起こったとしても予定時間に着くように、早めに出発しましょう。

・鉄道事故、交通渋滞などが起こった場合に備えて、別ルートを確認しておきましょう。

### \* 当日の受験票や身分証明書、筆記用具、メモ帳、各都道府県が指示しているものなど。

…前日に確認し、忘れ物のないように準備しておきましょう。

☆腕時計・予備のマスクの持参を～会場に時計がない場合があります。準備しましょう。

### \* 体調の管理を

…当日、新型コロナにかかっていたらもちろん受験できません。新型コロナでなくても、インフルエンザにかかっていたり熱や咳などの症状があったりする場合、ほとんどの自治体で、当日は受験できないと思った方がいいでしょう。当日と当日までの体調管理をしっかりとしておきましょう。

## **\*服装の準備を**

…都道府県によりますが、服装の準備を前もってしておきましょう。クールビズが可能な場合、どうかも調べておく必要があります。

## **2 当日の過ごし方について**

試験に臨む直前の心構えは、いざというときに役立つ手立てを持つということです。次のことを参考にしてしっかりとした心構えをもって受験に臨んでください。

### **(1) 早めの行動で試験に集中**

受験者の中には試験会場周辺の在住者のみならず、遠方からの人も多くいます。

近場から試験会場に訪れる人、電車で来る人、また慣れない土地に前泊して当日はホテルから試験会場へ向かう人と様々です。**時間の余裕は心の余裕**。試験当日は、ゆとりを持って行動します。

当日は、何が起こるかわかりません。あまりの緊張から、朝になったら突然お腹の調子が悪くなるかもしれません。電車が止まったり遅れたりしたら、別ルートで会場に向かわなくてはなりません。様々な理由で道路が渋滞したら、想像以上に焦ることになるでしょう。

\*当日は、余裕のあるスケジュールで動きましょう。

### **(2) ニュースに目を通す**

試験当日の朝は、当日のニュースに目を通します。

これまでに身につけてきた知識と当日のニュースが繋がって、思いがけなく筆記試験の答えに結びついたり、面接試験等では、最近の気になるニュース、教育ニュースも含まれますが、当日のニュースと絡めて鮮度の良い回答ができたりすることもあります。

物事の背景知識や予備知識として、大まかな内容、要点を頭に入れておくことを、おすすめします。

### **(3) 提出書類の内容確認をする**

当日、出発前にもう一度、今日提出する書類を記載内容から必ず見直しましょう。

個人面接では、受験者の面接票、提出物に基づいて質問が出されますが、書類の内容と面接で質問された内容に対する答えは、必ず一致していなければなりません。答えにズレがあっては試験官に不信感を抱かせることになります。

試験前には今一度、提出書類の確認と記載内容を見直し、すべて筋の通った回答ができることを再確認します。 自信を持って試験に臨めるようにしておきましょう。

### **(4) 1日を通して体調管理を**

新型コロナの対応で教員採用試験の内容や会場などが変更されている自治体があります。昨年度、試験日直前にメールやホームページで変更の連絡が出されたこともありました。もう一度チェックしましょう。

また、当日体調が悪いと受験できなくなってしまうます。当日までと当日の体調管理をしっかりとしていきましょう。教員採用試験が行われる時期は暑さも最高潮ですから、体調管理には十分な上に十分に気をつけましょう。試験突破のために長い長い時間を費やしてきたのですから、体調不良のために全力で試験に臨めなくなることは本当に不幸なことです。また、試験に関わらず、体調管理は社会人としての基本スキルです。万全の状態で最大限のパフォーマンスをすることは、民間の社会人も教員も同じです。

試験当日、受験者はみんな緊張しています。面接を担当する試験官はそのことを百も承知です。面接時には本題の質問に入る前に、緊張をほぐすための質問もよくあります。

焦らずに緊張している自分をまずは丸ごと受け入れたらどうでしょうか。誰でも緊張しているのです。あとは当日できることに全力を注いでみてください。健闘をお祈りしております。